

いそくじ 以速寺通信

2012/5 第115号

真宗大谷派三鏡山以速寺 発行
〒593-8312 堺市西区草部 79

TEL 072-275-0339

FAX 072-272-3020

草木が萌えてきました



一本の草も

生きねばならぬ

使命をもっている

藤原鉄乗

永代経 法話 (抄) その1

蓮正寺住職 二好 泰紹 師 みよし たいしょう

2012/4/21

それでは議題を頂きます。「如来の作願をたぢめねは…(略)」也。

〔親鸞聖人と讃〕高宗聖典(P503)

ごもごんにちは、はぢめまつて泉大津から参りました二好と申します。

蓮正寺といつお寺の住職をさせていただきますいております。ここから西へ、浜手の方へ十五分もかからない位の距離にあるお寺です。

今日も、したない話しかできませんけれども、御一緒に仏様の教え、仏教を聞き開いて参りたいと思ひます。

一応時間の制約もあるように、ええ、この僕は何時間もいろいろです。皆さんが付合ひついであるのなら、座り込んで、ほんまにどうん話をさせていだきたいなと思つておるんです。けれども、皆さん方のほつともいろいろ御都合があるでしよう。まあ「今日も、夜の御座もあるし、帰りにスーパーでも寄つてなんか夕食の惣菜でも買って帰らなあかな。簡単にすませようかしら」とかいふ頭は浮かべ

ながらでも、この時間を一緒に過していただけたら思ひます。どうぞ楽しみに聞いってくださいね。そんな難しい話はしません。どうですかできません。どうも、いろんな所でお話させていただく「まあな、だいたい坊さんの言ひことは一緒やな。一回聞いたらだいたいわかる」とおっしゃる方がおられます。結構おみえです。



皆さんも半分そんなふうに思つてないですか。

あの、だいたい同じなんです。あ、同じでない困るんです。仏教のお話をするといふことは、お釈迦様のお説きになられたことを御一緒に聞いといきましようといふことですから、これが人によつて全く違つていふ言ひだったり、おかしいですよ。

ただ、一回聞いたらわかるというのには御立派だと思ひますね。そこで僕はそんな方に質問したことがあるんです。「うん、晩酌はなれませんか？」

「ああ、わしゃ毎晩二杯飲む。」
「結構飲まれますね。美味しいですか」
「美味しい。」

「しかし、御主人ほどの立派なお方やったら、酒の味も一回飲んだら、一口も済むんちゃいますか？」

「いや、毎晩美味しい。おかずが美味いといふ、もつと進む。」

ちなみに僕はお酒一滴も飲みません。顔見たら飲めそつな顔してるのに。お酒は顔で飲むんちゃいますからね。

お酒はおかずによつて、その時、その時によつて味が違つていよ。

仏法の「御あじわい」も、その時、その時の私の気持ちによつて違います。だから、先輩方は「何度も何度も聞けよ」とおっしゃつてくださいます。今まで何回も何回も聞いてきたつもりで、うっかり聞き逃しておつた。

または、何回も聞いておつた言葉が妙に心に引掛かる。そういうことが大切なんです。

今日も何回も何回も聞いた同じような話かと思ひますけれども、どうぞ聞いってください。よろしくお願ひいたします。

たいや
以速寺お逮夜のご案内

親鸞聖人のご命日は11月28日です。そこで、毎月27日の夜に以速寺本堂で「お逮夜」（法要前日の夜のお勤め）を勤めます。

皆様お待ちしています

- 5月27日 午後7時30分から お話 住職
- 6月27日 午後7時30分から お話 住職
- 7月27日 午後7時30分から お話 住職

★8月は15日にお盆のお勤めをします。★



第32回夏季仏教講座のご案内

☆と き 8月3日（金） 午後2時30分～午後4時30分
（開場 午後2時）

☆ところ 堺市民会館（大ホール） 072-238-1481

☆講師 いちらく まこと 一楽 真師 大谷大学文学部教授

☆演題 『浄土を願って生きる』～つながりの回復～

大阪教区第21組が主催する夏季仏教講座です。どうぞご予約ください。



編集後記

今年も多くの方と永代経をお勤めすることができました。また花まつりでは本堂一杯の子どもたちとお釈迦様の誕生をお祝いできました。まずは、御礼申し上げます。

さて、この4月から責任役員と総代の方々が交代されましたので、遅ればせながら報告させていただきます。

まず任期満了に伴い、長らく責任役員を務めていただきました阪口一美さんと総代の小笠原宗治さんが退任されました。阪口さんのべいべい引張る力で、随分、以速寺の行事一つ一つが充実し、活動的になったと思います。また、小笠原さんのきめ細やかな対応で物事が円滑に進みました。共に、再任をお願い致しましたが、それぞれの御事情もあり、この度の運びとなりました。

なお、新任の責任役員には会計を務めて頂いておりました総代の宮口陽司彦さん、新任の会計には総代の植戻日出雄さん、そして新しくの総代として坂口明さんと、池側善仁さんがそれぞれ就任されました。このたび就任された皆様も頼りになる方ばかりです。どうぞ、未熟な住職の牽引、勝手ながらよろしく願いたします。

ところで、先日京都本山で、今まで五十年の我々の歩みと、これからの展望を話し合う会議が行われました。様々なことが話し合われましたが、その中心課題は「門徒や僧侶という肩書でなく一人の人間として、お念仏のごこまで出偶えるか。そしてこれを実現する場づくりが重要である」と、私は受けとめました。いよいよ皆さまと一緒に、お念仏申せる、つまり親鸞聖人に遇える、以速寺という場を作っていく tara と思いを新たにしています。

住職 山雄 竜磨